

置手紙

歌・曲・詞：伊勢正三

君はまだたくさんの紙袋を抱えたままで この手紙読んでいるだろう

これで最後の男の気まぐれとして どこかそこらの窓から捨ててくれ

君となら 一緒に暮らしたかった

二人でいつも立ち止まってしまおう あの赤いレンガの家で

ルンルン ルルル… 今日の寂しさは風にごまかされて

いつまでも 消えそうもない

僕のほんの一言がまだ二十歳前の君を こんなに苦しめるなんて

だから行く先は僕の友だちに訊いてくれ 君に会わないで行くから

今頃は 僕もまた昔のように

どこかの街のカフェテラスで ビールでも飲んでいるだろう

ルンルン ルルル… 君が帰る頃は夕暮れ時

部屋の灯りはつけたままで